

セルプの輪を広げるための活動 ～障がいのある方の社会参加をめざして～ 全国社会就労センター協議会

SELP Vision 2030より、
主に実現したチャレンジ



● SELP名称ならびにSELPロゴマークの誕生

SELP名称ならびにSELPロゴマークは、全国授産施設協議会（全国社会就労センター協議会の前身）が平成6年度に開始した授産施設CI*プロジェクトの結果誕生したものです。当時の授産施設は変革期にあり、制度面の改革だけでなく、授産施設自体の体質改善も並行して進めることが求められていました。

授産施設CIプロジェクトでは、①授産施設共通のアイデンティティの明確化、②一般社会とのコミュニケーションのオープン化、③名称変更、④関係者の意識改革、⑤体質改善・事業振興の推進を方針とし、事業が進められました。

そして、平成7年度協議員総会において、授産施設にかわる新名称として「社会就労センター」、コミュニケーションネームとして「SELP/セルプ」、さらにSELPロゴマークが決定されました。

*CI:Corporate Identity



SELP Vision 2030 事例紹介

2023.7.31 掲載

● SELP名称ならびにSELPロゴマークの使用規程の見直し

歴史あるSELP名称ならびにSELPロゴマークは、全国社会就労センター協議会(以下、全国セルプ協)や日本セルプセンターを始めとする関係者が共有する財産です。全国セルプ協において商標登録しており、使用承諾を得た者は使用することができます。

令和5年3月には、使用承諾等に係る『SELP名称ならびにSELPロゴマーク使用規程』を見直し、SELP名称ならびにSELPロゴマークの使用の目的と使用者の範囲を改めました。

使用の目的

(1) 社会に広くSELP名称やSELPロゴマークを普及することで、障害者への就労支援や生活支援、就職支援等のサービスを提供する施設・事業所への理解促進を図る。

(2) 障害者が働くことの意義を社会に発信することで、障害者の「楽しく働き、心豊かにくらす」を実現する。

(3) 都道府県を越えたセルプネットワークの強化を図る。

使用者の範囲

「全国セルプ協とその会員」、「日本セルプセンターとその会員」、「都道府県セルプ協・セルプセンター」に、新たに「都道府県セルプ協・セルプセンターの会員」を追加しました。

● 障がいのある方の社会参加をめざして

本会では、1977年の設立以来、障がいのある方の“働く・くらすを支える”を掲げて、障がいのある方の社会参加の推進に取り組んできました。SELP名称ならびにSELPロゴマークがこれまで以上に活用されることで、働くことを希望する障害のある方と社会就労センターが製造・提供する商品・サービスに対する社会からの信頼と理解が得られ、障害のある方の一層の社会参加とそれを支えるための工賃・賃金向上に繋がると考えています。

SELP名称ならびにSELPロゴマークは、誕生から約30年を迎えようとしていますが、一般の方々の認知度は十分ではありません。多くの関係者がSELP名称ならびにSELPロゴマークを使用することで「セルプ」の活動を広く知っていただき、社会の理解・信頼のうえに、売上拡大、工賃・賃金向上に繋がりたいと思います。

